

第44回
ひな人形展



屏風段飾りひな人形(平成2年)



屏風段飾りひな人形(平成15年)



屏風段飾りひな人形(平成10年)

令和8年 1月17日[土]～3月15日[日]

開館時間 | 9:00~16:30 | 休館日 | 月曜日(2月23日は除く)、2月24日(火曜日)

入場料



スタンプラー

みよし市内ひな巡り スタンプラリー

1月31日(土)～3月8日(日)

スタンプ・シールラリー

愛知県内の博物館などをめぐる ひなまつりスタンプ・シールラリー

||||||| 交通のご案内 |||||

公共交通機関でお越しの場合

- 地下鉄鶴舞線「赤池」駅下車
名鉄バス農田市行き 「三好」バス停下車、徒歩3分
 - 名鉄三河線「豊田市」駅下車
名鉄バス赤池行き 「三好」バス停下車、徒歩3分
 - 名鉄農田線「三好ヶ丘」駅下車
さんさんバス（いいじゃんライン）「29 中部小学校」下車、徒歩3分

お車でお越しの場合は（無料駐車場あり）

 - 東名高速道路 「東名三好」ICから約10分

みよし市立歴史民俗資料館

470-0224

愛知県みよし市三好町陣取川44-1

TEL 0561-34-5000

TEL 0561-34-5000
FAX 0561-34-5150



当館は昭和57年11月に開館し、2回目の企画展示として昭和58年1月に「ひなまつりと能楽展」を開催いたしました。以来、毎年ひな人形展を開催し、今回で44回目を迎えました。この間に実に多くの皆さまからひな人形のご寄贈を賜りました。改めてご寄贈賜りました皆さまをはじめ、ご支援・ご協力を賜りました皆さまに、厚く御礼申し上げます。

上巳の節句には、古くから人形を飾る習慣がありました。飾られる人形は、地域や時代によってさまざまです。みよし市周辺では、古くは型などで成形して焼いた粘土に、色付けをした土人形が飾られていました。明治時代になると、それまでの土人形に加え、衣装を着けた男びなと女びな一对の内裏ひな人形も見られるようになります。その後の昭和時代には、男びなと女びなを御殿に収めて飾る御殿飾りひな人形が主流となりました。きらびやかで豪華な御殿飾りひな人形は、昭和20年代から30年代にかけてこの地域で大流行しました。昭和40年代頃からは、御殿飾りひな人形に替わって、人形が大きくて道具も多い7段飾りに代表される屏風段飾りひな人形が主流となりました。一方で木目込み人形やガラスケース入りのひな人形など、住宅事情を反映したコンパクトなひな人形も同じ頃から見られるようになります。平成になると、大きな7段飾り以外に、人形の大きさや衣装や素材などにこだわった、内裏一对の親王飾りや、三人官女までの3段飾りなど、多様化していきました。

今回のひな人形展では、明治時代から平成時代にかけてのひな人形の移り変わりを展示紹介します。時代ごとに移り変わるひな人形の様子を、その時の時代背景から感じ取っていただくとともに、これらの人形たちが飾られた時代に思いを馳せていただければ幸いです。



屏風段飾りひな人形(昭和50年)



御殿飾りひな人形(昭和27年)



ケース入り人形(平成2年)

みよし市立歴史民俗資料館

〒470-0224 愛知県みよし市三好町陣取山44-1

TEL 0561-34-5000 FAX 0561-34-5150

shiryoukan@city.aichi-miyoshi.lg.jp